

令和7年6月6日

住民課環境係

令和6年度ヤンバルトサカヤスデ調査結果について

調査場所 東京都八丈町（第1表および第1図参照）

調査月日 第1回目：2024年9月10日～12日
第2回目：2024年11月12日～14日
第3回目：2025年1月21日～23日

調査目的

ヤンバルトサカヤスデの発生量の予測および大量発生防止に向けて、島内生息個体数の調査を行った。

調査方法

- 生息密度調査：島内37か所の生息場所（腐葉土内）（第1表、第1図）におけるヤンバルトサカヤスデの発生状況および生息密度を調査した（一部工事中で調査を割愛した地点がある）。
- 昨年度と同様に調査は昼間のみとした（夜間調査は昨年度より中止）。

調査結果

- 発生概況
 - ・第1回目（2024年9月10日～12日／第2表）の調査では、生息が観察されたのが11か所と例年に比べか少なかったが、昨年より増えていた。発生総数で見ると昨年の2倍程度の虫数であったが例年と比較すると少なかった。ここ数年の平均と比較し、発生量が少なかった理由としては、7～8月にかけて、降水量が例年に比べかなり少ないことが要因として考えられた。
 - ・第2回目（2024年11月12日～14日／第3表）の調査では9月の少発生の傾向が継続しており、発生地点数は9月に比べると増えたが、昨年に比べると、発生総数では7割程度となっており、減少傾向が認められた。昨年も例年に比べ発生量が少ない傾向であったが、さらに減少傾向にあることが明らかとなった。特に大賀郷地区、三根地区では発生が認められない調査地点も多く、明らかに減少傾向であった。
 - ・第3回目（2025年1月21日～23日／第4表）の調査では、11月と比較して発生総数はやや増加していたものの、昨年と比較すると同程度であった。発生地点数は11月よりやや増加していたが、昨年と比較するとやや少なかった。

●月別発生状況（第2図）

1回目調査時には、腐葉土内での生息および発生が認められた観察地点は11ヶ所（31%）であった。腐葉土内で確認された個体は、92.8%が亜成体であった。

2回目調査時には腐葉土内での生息および発生が認められた観察地点は16か所（44%）であった。集合はいずれの地点でも認められなかった。定点で観察された個体は85.7%が成体であった。

3回目調査時には腐葉土内での生息および発生が認められた観察地点は21ヶ所（58%）であった。集合はいずれの地点でも認められなかった。定点で観察された個体の92.6%が成体であった。2回目と比較し、発生地点数、発生総数ともにやや増加傾向にあった。今後、発生状況は春に向けて終息に向かうものと思われるが、来年度に向けて発生動向には注意が必要と思われた。

●地域別発生状況（第2図）

腐葉土内に生息が確認された調査地点の割合は、いずれの月も坂上地区が坂下地区を上回った。極端にヤンバルトサカヤスデの発生が少なかった2019年度を除けば、2017年度の調査以降この傾向が継続している。

●調査個体の令構成（第3図）

2024年の気温は平年よりやや高めに推移したが令構成は例年と同様の傾向であった。

考察

●発生要因

昨年度は定点観測地点での発生確認の割合や総数が例年に比べて低かったが、7～9月の降水量が少なかったことが要因であろうと推測していた。そのため本年度については、降水量が平年程度であれば昨年以上の発生になる可能性があるかと推測していた。しかし、本年度も7月以降の降水量が平年をかなり下回り（第4図）、この影響により、結果的には昨年と同程度の発生量となり、低水準の傾向が継続する形となった。

ヤンバルトサカヤスデの発生が予想より下回った要因として、降水量の少なさに加え、群遊初期の薬剤による防除の徹底、落ち葉の除去および雑草の下刈り等でのヤンバルトサカヤスデの生息場所除去などが進んだことも挙げられる。また調査地点全般的に生息場所が乾燥気味になっているような印象があり、年間の気温が平年より高めに推移したこと（第5図）が影響している可能性も考えられる。

今後の予想

●来年度の発生予想

今年度11月の調査時点では定点調査地の44%でヤンバルトサカヤスデの生息が認められたが、1月の調査では58%に増加していた。しかし、各地点の発生個体数自体は昨年同様少なかった。このことから島全体のヤンバルトサカヤスデの発生個体数は総量的に昨年度と同程度であり、例年より少ない水準であったと考えられる。そのため来年度は島全体での

ヤンバルトサカヤスデの大発生の可能性は少ないと推測されるが、特定のエリアで限定的に大量発生する可能性はあり、注意が必要と思われる。

●発生源対策

早期の幼虫、亜成体による群遊の発生は、その地域のヤンバルトサカヤスデの密度が高まっている結果であると考えられる。幼虫、亜成体による群遊が認められた場合は、群遊個体の駆除、近隣地域の落ち葉の除去および雑草の下刈りなどを実施すると共に、その後の成体による大規模な群遊に結びつく可能性が高いので十分注意する必要がある。

本年度は少雨傾向に起因して発生量が少なかったが、今後夏期の降水量に注意し、多発生に備えた対策に留意する必要がある。

●調査時期および方法

来年度の調査は9月中旬、11月中旬、1月下旬の3回実施する。

第1図 ヤンバルトサカヤスデ発生状況調査地点

地点標 69 周辺

大越園地休憩舎周辺

八丈富士永郷線入口周辺

三根永郷分団詰所周辺

釣り場赤崎入口周辺

釣り場オアサネ入口周辺

第一長の入橋周辺

地点標 57 周辺

水産試験場裏周辺

地点標 71 周辺

地点標 73 周辺

国民宿舎 サン マリーナ周辺

火葬場周辺

地点標 76,77 中間周辺

南原千畳岩海岸
(車海老養殖場跡周辺)

ほたる水路トイレ周辺

歴史民俗資料館裏周辺

尾越の水汲場跡周辺

ふるさと村駐車場周辺

為朝神社周辺

角尻川の橋周辺

末吉郵便局前周辺

しんのうやし雌雄原株周辺

みはらしの湯周辺

大坂トンネルの展望台周辺

人捨て穴入口周辺

ふれあいの湯周辺

名古の展望台牛舎壁面周辺

團伊玖磨アトリエ周辺

榎立運動場周辺

乙千代ヶ浜手前道路周辺

ゴルフクラブ上周辺

ザ・BOON 周辺

裏見ヶ滝遊歩道周辺

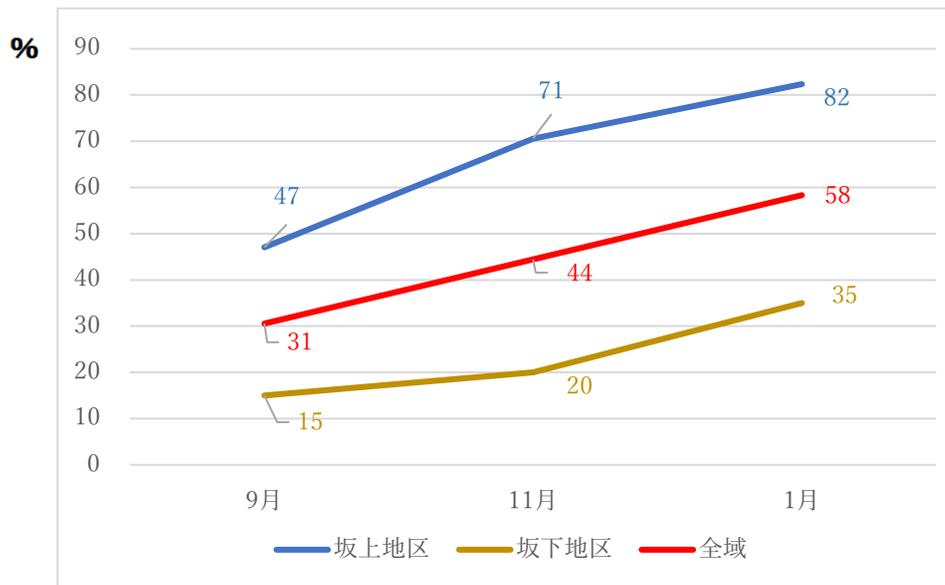
末吉～中之郷境周辺

えこ・あぐりまーと周辺

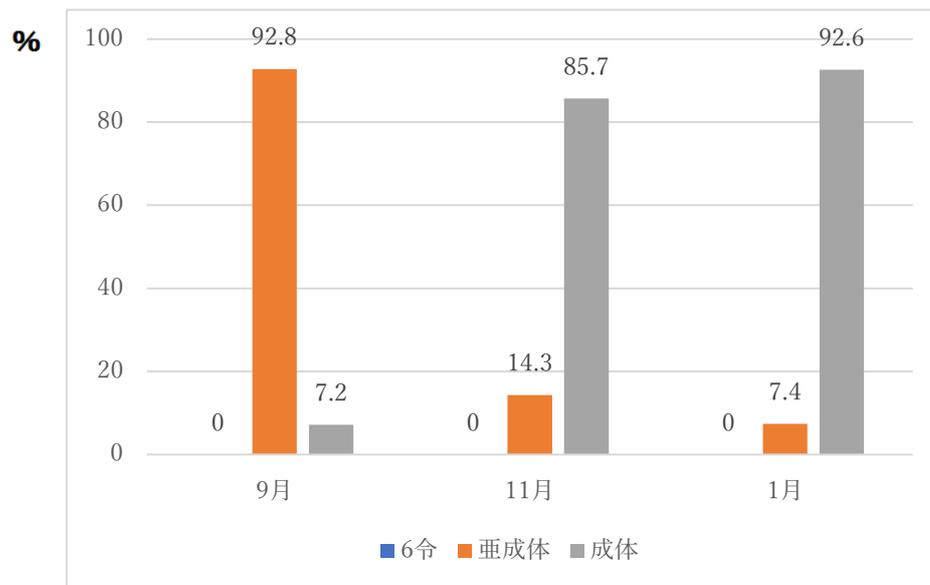
地点標 15 周辺



第2図 ヤンバルトサカヤスデ腐葉土内生息確認箇所率

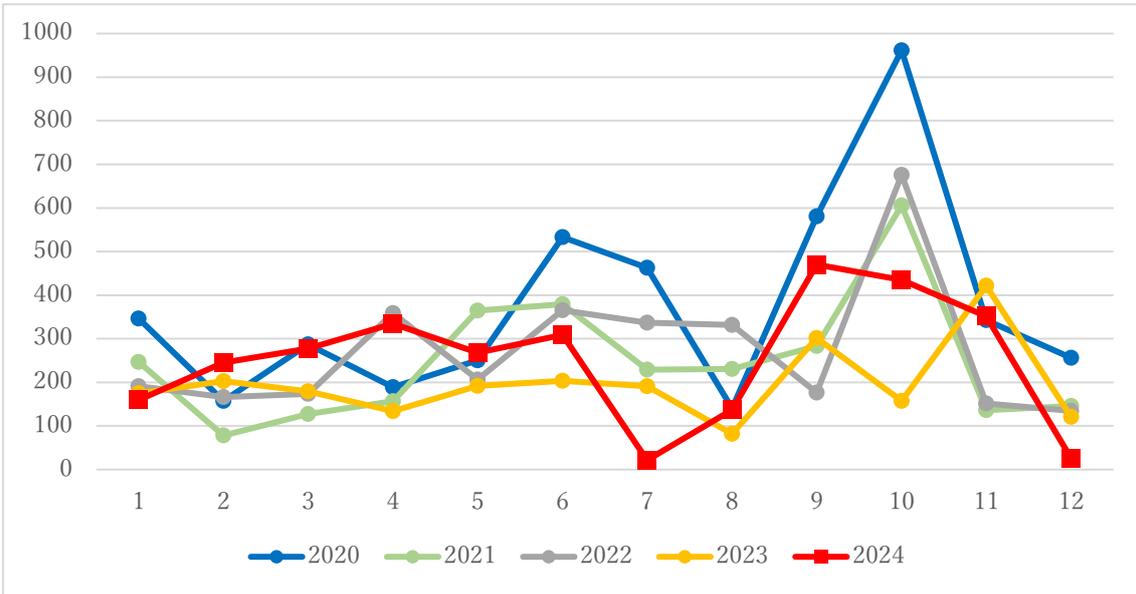


第3図 調査個体の月別年齢構成



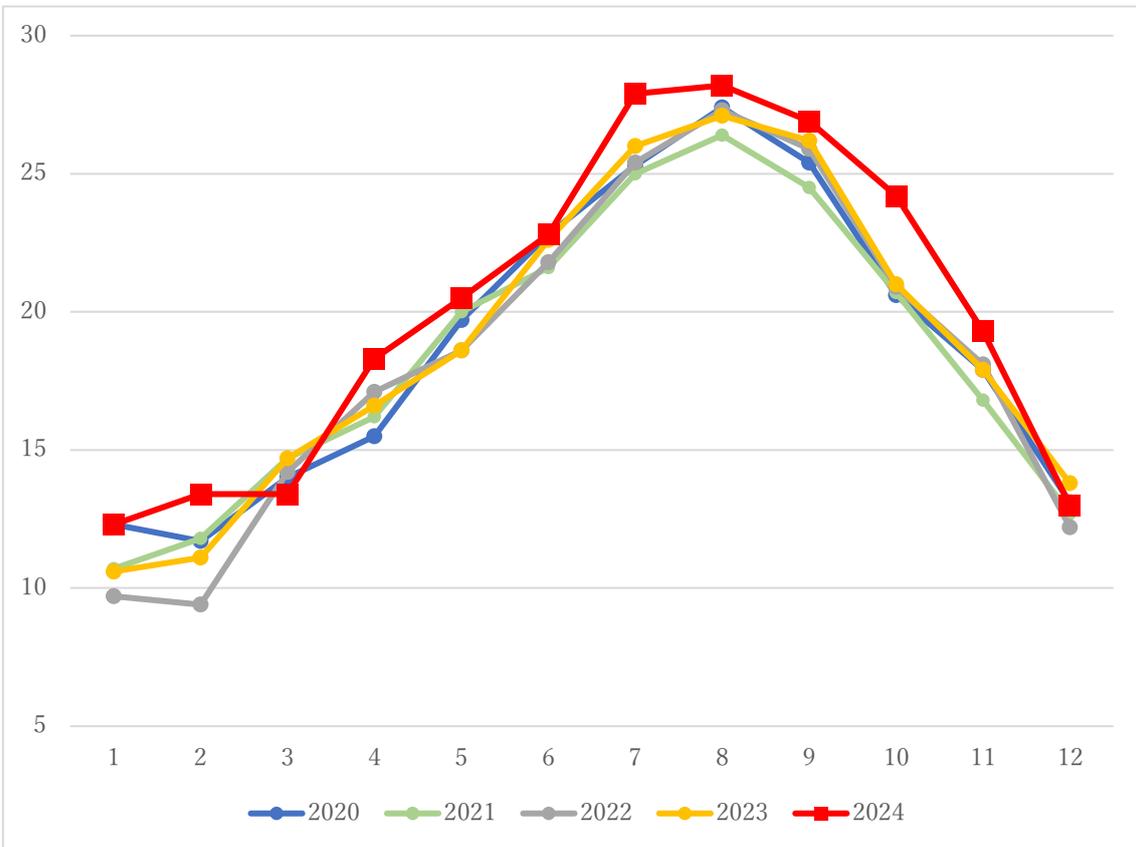
第4図 八丈町月別降水量(気象庁 HP より)

mm



第5図 八丈町月別平均気温(気象庁 HP より)

°C



第2表 (2024年9月10日~12日)

	調査地点	虫数3反復合計			1㎡当り総数	成体の割合(%)	壁面観察数 (㎡当り)	評価
		亜成体数	成体数	総数				
1	尾越の水くみ場	0	0	0	0		無	
2	郵便局前	0	0	0	0		無	
3	みはらしの湯	0	0	0	0		無	
4	角尻川の橋	3	0	3	14	0	微	
5	名古屋の展望台牛舎壁面	0	0	0	0	0	無	
6	末吉~中之郷境都道沿い	1	0	1	5	0	微	
7	しんのうやし雌雄原株周辺	0	0	0	0		無	
8	つつみポンプ小屋	0	0	0	0		無	
9	エコ・あぐりまーと	0	0	0	0		無	
10	裏見ヶ滝遊歩道	2	0	2	9	0	微	
11	ザブーン周辺	0	0	0	0		無	
12	ゴルフクラブ上	4	0	4	19	0	微	
13	乙千代ヶ浜手前	7	0	7	32	0	微	
14	樫立運動場	1	0	1	5	0	微	
15	團伊玖磨別荘	62	7	69	319	10	微~少	
16	ふれあいの湯	1	0	1	5	0	微	
17	人捨て穴付近	0	0	0	0		無	
18	展望台	1	0	1	5	0	微	
19	為朝神社	4	0	4	19	0	微	
20	ふるさと村駐車場	0	0	0	0		無	
21	歴史民俗資料館裏			0	0		工事中	
22	ほたる水路周辺	0	0	0	0		無	
23	火葬場周辺	0	0	0	0		無	
24	サンマリーナ周辺	0	0	0	0		無	
25	水産試験場裏	0	0	0	0		無	
26	ファナック入り口周辺	0	0	0	0		無	
27	第一長の入橋周辺	0	0	0	0		無	
28	釣り場オアサネ入口	0	0	0	0		無	
29	釣り場赤崎入口	0	0	0	0		無	
30	三根永郷分団詰所入口	0	0	0	0		無	
31	八丈富士永郷線入口	0	0	0	0		無	
32	大越園地休憩舎	0	0	0	0	0	無	
33	ペンションタンポポ前	0	0	0	0	0	無	
34	もつくんらんど前	4	0	4	19	0	微	
35	あしたば発祥園	0	0	0	0		無	
36	グリーンポスト付近	0	0	0	0		無	
37	車海老養殖場跡周辺	0	0	0	0		無	
	計	90	7	97	449	7.2	0	

調査方法

1 地点につき、スコップの面積(24cm×30cmとする)当たりの腐葉土の下にいる虫数を計数し、これを3反復行う。3反復分(計0.216㎡当り)の虫数の合計数から1㎡当りの虫数を算出する。

発生程度

無 腐葉土での生育、集合のいずれも認められない。

微 腐葉土での個体数が200頭(1㎡当たり)以下で集合は認められない。

微~少 腐葉土での個体数が1,000頭(1㎡当たり)以下で集合は認められない。

少 腐葉土での個体数が1001頭(1㎡当たり)以上認められる。

あるいは集合が認められる(100頭以下)。

中 集合が101頭以上10,000頭以下認められる。

多 集合が10,001頭以上100,000頭以下認められる。

甚 集合が100,001頭以上認められる。

第3表 (2024年11月12日～14日)

	調査地点	虫数3反復合計			1㎡当り総数	成体の割合(%)	壁面観察数 (㎡当り)	評価
		亜成体数	成体数	総数				
1	尾越の水くみ場	0	0	0	0			無
2	郵便局前	3	4	7	32	57		微
3	みはらしの湯	0	48	48	222	100		微～少
4	角尻川の橋	0	2	2	9	100		微
5	名古屋の展望台牛舎壁面	3	3	6	28	50	0	微
6	末吉～中之郷境都道沿い	0	10	10	46	100		微
7	しんのうやし雌雄原株周辺	0	0	0	0			無
8	つつみポンプ小屋	0	0	0	0			無
9	エコ・あぐりまーと	0	0	0	0			無
10	裏見ヶ滝遊歩道	1	7	8	37	88		微
11	ザブーン周辺	1	2	3	14	67		微
12	ゴルフクラブ上	1	4	5	23	80		微
13	乙千代ヶ浜手前	3	0	3	14	0		微
14	榎立運動場	0	5	5	23	100	5	微
15	團伊玖磨別荘	2	20	22	102	91		微
16	ふれあいの湯	0	3	3	14	100		微
17	人捨て穴付近	0	0	0	0			無
18	展望台	3	13	16	74	81	0	微
19	為朝神社	5	6	11	51	55		微
20	ふるさと村駐車場	1	7	8	37	88		微
21	歴史民俗資料館裏	工事中		0	0			工事中
22	ほたる水路周辺	0	0	0	0			無
23	火葬場周辺	0	4	4	19	100		微
24	サンマリーナ周辺	0	0	0	0			無
25	水産試験場裏	0	0	0	0			無
26	ファナック入り口周辺	0	0	0	0			無
27	第一長の入橋周辺	0	0	0	0			無
28	釣り場オアサネ入口	0	0	0	0			無
29	釣り場赤崎入口	0	0	0	0			無
30	三根永郷分団詰所入口	0	0	0	0			無
31	八丈富士永郷線入口	0	0	0	0			無
32	大越園地休憩舎	0	0	0	0			無
33	ペンションタンポポ前	0	0	0	0		0	無
34	もっくんらんど前	0	0	0	0			無
35	あしたば発祥園	0	0	0	0			無
36	グリーンポスト付近	0	0	0	0			無
37	車海老養殖場跡周辺	0	0	0	0			無
	計	23	138	161	745	85.7	5	

調査方法

1 地点につき、スコップの面積 (24cm×30cmとする) 当たりの腐葉土の下にいる虫数を計数し、これを3反復行う。3反復分 (計0.216㎡当り) の虫数の合計数から1㎡当りの虫数を算出する。

発生程度

無 腐葉土での生育、集合のいずれも認められない。

微 腐葉土での個体数が200頭 (1㎡当たり) 以下で集合は認められない。

微～少 腐葉土での個体数が1,000頭 (1㎡当たり) 以下で集合は認められない。

少 腐葉土での個体数が1001頭 (1㎡当たり) 以上認められる。
あるいは集合が認められる (100頭以下)。

中 集合が101頭以上10,000頭以下認められる。

多 集合が10,001頭以上100,000頭以下認められる。

甚 集合が100,001頭以上認められる。

第4表 (2025年1月21日～23日)

	調査地点	虫数3反復合計			1㎡当り総数	成体の割合(%)	壁面観察数 (㎡当り)	評価
		亜成体数	成体数	総数				
1	尾越の水くみ場	0	4	4	19	100		微
2	郵便局前	2	6	8	37	75		微
3	みはらしの湯付近(121-3)	2	7	9	42	78		微
4	角尻川の橋	2	12	14	65	86		微
5	名古屋の展望台牛舎壁面	0	0	0	0		0	無
6	末吉～中之郷境都道沿い(18-3)	0	7	7	32	100		微
7	しんのうやし雌雄原株周辺	2	9	11	51	82		微
8	つつみポンプ小屋	2	12	14	65	86		微
9	エコ・あぐりまーと	0	0	0	0			無
10	裏見ヶ滝遊歩道	0	30	30	139	100		微
11	ザブーン周辺	0	8	8	37	100		微
12	ゴルフクラブ上	2	3	5	23	60		微
13	乙千代ヶ浜手前	0	2	2	9	100		微
14	樫立運動場	0	5	5	23	100	0	微
15	團伊玖磨別荘	3	3	6	28	50		微
16	ふれあいの湯	0	6	6	28	100		微
17	人捨て穴付近	0	0	0	0			無
18	展望台	2	12	14	65	86	0	微
19	為朝神社	0	31	31	144	100		微
20	ふるさと村駐車場	0	19	19	88	100		微
21	歴史民俗資料館裏一工事中			0	0			工事中
22	ほたる水路周辺	0	3	3	14	100		微
23	火葬場周辺	0	9	9	42	100		微
24	サンマリーナ周辺	0	0	0	0			無
25	水産試験場裏	0	0	0	0			無
26	ファナック入り口周辺	0	0	0	0			無
27	第一長の入橋周辺	0	0	0	0			無
28	釣り場オアサネ入口	0	0	0	0			無
29	釣り場赤崎入口	0	0	0	0			無
30	三根永郷分団詰所入口	0	0	0	0			無
31	八丈富士永郷線入口	0	0	0	0			無
32	大越園地休憩舎	0	0	0	0		0	無
33	ペンションタンポポ前	0	18	18	83	100	0	微
34	もっくんらんど前	0	8	8	37	100		微
35	あしたば発祥園	0	0	0	0			無
36	グリーンポスト付近	0	0	0	0			無
37	車海老養殖場跡周辺	0	0	0	0			無
	計	17	214	231	1069	92.6	0	

調査方法

1地点につき、スコップの面積(24cm×30cmとする)当たりの腐葉土の下にいる虫数を計数し、これを3反復行う。3反復分(計0.216㎡当り)の虫数の合計数から1㎡当りの虫数を算出する。

発生程度

無 腐葉土での生育、集合のいずれも認められない。

微 腐葉土での個体数が200頭(1㎡当たり)以下で集合は認められない。

微～少 腐葉土での個体数が1,000頭(1㎡当たり)以下で集合は認められない。

少 腐葉土での個体数が1001頭(1㎡当たり)以上認められる。

あるいは集合が認められる(100頭以下)。

中 集合が101頭以上10,000頭以下認められる。

多 集合が10,001頭以上100,000頭以下認められる。

甚 集合が100,001頭以上認められる。